

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-8162
 住 所 東京都千代田区大手町一丁目1番2号
 氏 名 JXTGエネルギー株式会社
 代表取締役社長 杉森 務 印
 (代理人)常務執行役員 製油所長 藤井 文人
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	旧東燃ゼネラル石油株式会社 (現JXTGエネルギー株式会社)		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町7番1号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	17	石油製品・石炭製品製造業
主たる事業 の内容	0		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	897,733	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	13,250	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎製油所 環境安全部門 環境安全グループ
		所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町7番1号
		電話番号	044-288-8350
		FAX番号	044-288-8374
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成28年度 (報告年度 平成28年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 1,582,309 t-CO ₂ (調) 1,031,301	(実) 1,422,014 t-CO ₂ (調) 830,835	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 1,473,235 t-CO ₂
削減率		(実) 10.1 % (調) 19.4	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 6.9 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	換算通油量		単位	t-CO ₂ /換算通油量 千kl	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	12.62	13.55			13.40
削減率		-7.4 %	%	%	-6.2 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	<p>対基準年度比で、排出量原単位は7.4%増となったものの、温室効果ガス排出量は10.1%の削減を達成した。</p> <p>○第1年度において1件の削減対策を実施し、31トン/年の温室効果ガスの排出量削減を達成した。</p> <p>○前年度に比べて一部装置で定期整備を実施し、また、計画外の停止が多かったため、換算通油量が低下し、温室効果ガスの排出量が低下した。一方、定期整備時及び計画外停止時には、装置のシャットダウン・スタートアップ時には非効率な運転となることに加え、整備を行わない装置についても製品需要に対応するために低効率であるが低稼働での運転を継続したため、排出量原単位が悪化した。</p>
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

日本経団連低炭素社会実行計画に従い、石油連盟として、2010年から2020年までの積上げとして原油換算で53万KL、CO₂に換算して140万トン削減という目標を設定しており、旧 東燃ゼネラル石油の責任分担分として、原油換算約8.5万KLの削減を実施する計画である。なお、2015年度終了時点で当該計画に対し、原油換算8.3万KLの削減を達成しており、2020年までの累積目標比98%をすでに達成している。

また、石油精製業は省エネ法が定めるベンチマークの対象セクターとなっているが、旧 東燃ゼネラル石油(株)は平成27年度実績報告において6年連続で目標達成事業者として認定、公表されている。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	高性能空調機の導入・ポンプの省エネコーティング等により消費電力を削減する。 ・高性能空調機の導入(平成28年度予定分) CO2削減期待効果：10 トン/年 (原油換算：5 kl/年) ・海水ポンプP-181B省エネコーティング CO2削減期待効果：282 トン/年 (原油換算：147 kl/年)
	第1年度	高性能空調機の導入により消費電力を削減した。 CO2削減効果：31 トン/年 (原油換算：16 kl/年)
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	<p>○バイオ燃料供給 -当グループの販売会社に対し、 バイオ燃料（ETBE配合ガソリン）の供給 981.1千トン/年のCO2削減の効果（2015年度実績）</p> <p>○中央研究所にて開発した「自動車会社向け省燃費エンジン油」及び 「自動車会社向け省燃費CVT油」による域外貢献（川崎メカニズム認証） 550.4千トン/年のCO2削減の効果（2015年度実績）</p>
第1年度	<p>○バイオ燃料供給 -当グループの販売会社に対し、 バイオ燃料（ETBE配合ガソリン）の供給 1027.8千トン/年のCO2削減の効果（2016年度実績）</p> <p>○中央研究所にて開発した「自動車会社向け省燃費エンジン油」及び 「自動車会社向け省燃費CVT油」による域外貢献（川崎メカニズム認証） 591.0千トン/年のCO2削減の効果（2016年度実績）</p>
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<p>○研究開発の取り組み -燃料油・潤滑油の品質改良</p> <p>○効率的な物流への寄与 -川崎製油所では出荷への対応を24時間行うことにより、物流効率向上を図ることによるCO2削減に寄与 -大容量タンクローリーの受け入れを行うことにより、配送回数を削減させると共に交通環境改善に協力</p> <p>○川崎製油所・製造所エネルギー管理委員会によるエネルギー効率改善への取り組み</p> <p>○川崎市と協働した取組 -川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加 -川崎国際環境技術展に出展</p>
第1年度	<p>○研究開発の取り組み -燃料油・潤滑油の品質改良</p> <p>○効率的な物流への寄与 -川崎製油所では出荷への対応を24時間行うことにより、物流効率向上を図ることによるCO2削減に寄与 -大容量タンクローリーの受け入れを行うことにより、配送回数を削減させると共に交通環境改善に協力</p> <p>○川崎製油所・製造所エネルギー管理委員会によるエネルギー効率改善への取り組み</p> <p>○川崎市と協働した取組 -川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加 -川崎国際環境技術展2016に出展</p>
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	1,425,879	t-CO ₂
(調)	834,680	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
旧東燃ゼネラル石油株式会社 川崎工場	神奈川県川崎市浮島町7番1号	1711	石油精製業	1,425,879 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
旧東燃ゼネラル石油株式会社 川崎工場	神奈川県川崎市浮島町7番1号	1711	石油精製業	1,425,879 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--